

「生きづらさに寄り添い、多様性を認め合う当事者主体の地域づくり」

～開催趣旨～

地域福祉計画や地域包括ケア、生活困窮者自立支援、母子健康（子育て世代）包括支援、家庭内暴力・虐待、更生保護、ひきこもり支援などにおいて、保健・医療・福祉・教育・就労・司法等の垣根を越える連携、あるいは高齢者・障害者・児童等の各福祉分野相互間の連携が求められるようになってきているが、あらためて、その意味を問い直したい。

連携の目的との関係においては、連携の形（体制や関係図式、概念図）だけを作って満足している場合も見られるように、誰のための、何のための連携なのか、実際に機能するのか、あるいは、個別ケースに即してどのように連携すればよいのか、ということをも具体的に明らかにする必要がある。

連携の方法との関係においては、「連携」と言いながら、バトンタッチに終わっていないか？自分の病院・施設・事業所・機関では手に負えないから、あとは任せたよ、とバトンタッチしているにすぎない場合であっても、「連携」と称していないだろうか？それは、「連携」という名の下に、押しつけあいをしているに過ぎないバトンリレーであり、寄り添い続けながら相互に分担・協力する伴走型支援とは異なる。

当事者（住民・患者・利用者・要支援者）を中心に、自己決定に基づく価値ある生き方（単なる欲求充足でもなく、専門職や家族のパターンリズムによる生き方の押しつけでもなく）を実現していくためには、どういう手立てやステップが必要か？専門職には、どういう支援ができるのか？どういう連携をした結果、当事者の生活がどう変わり、地域がどう変わっていったのか、という事例報告を軸に議論を深めたい（試行錯誤していることも含む）。たとえば、認知症高齢者、精神障害者、ひきこもり当事者、家庭内暴力・虐待の被害者・家族、刑余者等の当事者一人ひとりが、それぞれの不安や悩み、苦しさ、生きづらさに直面しながらも、その人らしい生き方を見つけ、取り戻し、やり直しができる環境・関係づくりをどのように進めていけばよいのか？という当事者中心の地域づくりのあり方を探る。

当事者の意思を尊重しながら、住民誰にとっても安心でき、役割を果たし、生きがいを感じられる地域づくりを進めていくためには、専門職だけではなく、当事者や住民自身も、自分たちができること、したいこと、しなければいけないことの意味決定・実行・振り返り・修正のプロセスに主体的に関わっていくことが重要なポイントになるが、そのような当事者・住民主体の地域づくりを進めるための条件についても討議していきたい。

◆開催日 ●令和4(2022)年11月8日(火)～30日(水)

第54回高知県リハビリテーション研究大会～演題動画発表視聴～

※期間中、参加者が各自視聴。(動画URLは初日にお知らせ)

●令和4(2022)年11月27日(日) 10:00～15:00

第54回高知県リハビリテーション研究大会 【Zoom開催】

第1部 各演題について掘り下げ議論する

第2部 パネルディスカッション「生きづらさに寄り添い、多様性を認め合う当事者主体の地域づくり」

※当日までに招待メールを送信します。

- ◆主催 高知県リハビリテーション研究会
～高知県に地域リハビリテーション※の理念を普及させる～
・大会長 宮本 寛（高知県リハビリテーション研究会 会長）
・実行委員長 田中きよむ（高知県リハビリテーション研究会 理事）

◆参加費 会員・非会員 1,000円（学生は無料）

◆参加方法 下記のURLまたは、右の二次元コードからお申込み下さい。

<https://rihaken4.wixsite.com/54taikai>



～ URL 及び二次元コードからの申込みが難しい場合 ～

別紙 参加申込書により、10月28日（金）までに、事務局あてにFAX又はEメールでお申し込みください。お申込みいただいた後、事務局から参加費の振込先口座をメールでお知らせしますので、ご入金ください。（原則、ご入金後の返金はできませんのでご注意ください。）

【11月27日の日程】

- 9:30～ ZOOM 入室可能
10:00～10:05 開会
開会挨拶 宮本 寛（第54回高知県リハビリテーション研究大会長）
10:05～12:00 **第1部** 各演題について掘り下げ議論する
※演題発表者が3つのカテゴリーに分散出演しディスカッション。
① 10:05～10:40 「障害をもつ人の理解」
② 10:40～11:15 「当事者を中心とする地域連携」
③ 11:15～11:50 「在宅生活への支援」
④ 11:50～12:00 まとめ
(休憩)
12:30～14:45 **第2部** パネルディスカッション
「生きづらさに寄り添い、多様性を認め合う当事者主体の地域づくり」
○コーディネーター 田中きよむ（高知県立大学社会福祉学部教授）
○パネラー
・長野敏宏 氏（NPO 法人ハート in ハートなんぐん市場 理事
公益財団法人正光会 御荘診療所 所長（精神科医））
・濱田知加 氏（保健師、障害児の家族）
・公文一也 氏（高知県安芸福祉保健所 健康障害課 主幹）
・千頭賢子 氏（社会福祉法人高知県社会福祉協議会
地域生活定着支援センター専門職員）
14:45～15:00 閉会
審査結果発表
閉会挨拶 田中きよむ（第54回高知県リハビリテーション研究大会実行委員長）

※《地域リハビリテーションとは》

障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。（「日本リハビリテーション病院・施設協会」の定義より）

第54回高知県リハビリテーション研究大会 参加申込書

*参加申込 URL 及び二次元コードからの申込みが難しい場合にご使用ください。

	記入例	申込欄
参加区分	(会員) 非会員、学生	会員、 非会員、 学生
フリガナ	コウチ ハナコ	
お名前	高知 花子	
フリガナ (※2)	アールアエイエーハイフンケーイーエヌ@アールアエイエーエートットエヌイートットジエビエー	
E-mail	riha-ken@riha.ne.jp	
電話番号	(自宅) 勤務先、携帯] 088-×××-××××	[自宅、 勤務先、 携帯] — —
勤務先又は学校名 (※3)	〇〇△△	
業種	医療、保健、(福祉) その他	医療、 保健、 福祉、 その他 ()
お住まいの都道府県	(高知県、 () 都道府県	高知県、 () 都道府県

※1 上記に記入のうえ、10月28日(金)までに FAX 又は E メールにて事務局までお申込みください。

※2 E-mail を手書き記入の場合は、フリガナもご記入ください。

※3 勤務先又は学校名については、お構いなくはお答えください。

※4 参加申込書により知り得た個人情報参加管理にのみ使用し、外部に漏洩することはありません。

高知県リハビリテーション研究会事務局
 社会福祉法人高知県社会福祉協議会 福祉研修センター (広瀬)
 〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1 県立ふくし交流プラザ内
 TEL 088-844-3605 FAX 088-844-9443
 Eメール rihaken@rihaken.sakura.ne.jp
 ホームページ <http://rihaken.sakura.ne.jp/rihab/>